



パソコンに接続されているすべてのハードディスク・SSD・  
ネットワークドライブの健康状態や寿命を常時Check

# HDD Sentinel PRO

## 取扱説明書

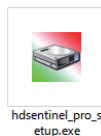
【対応OS】

Windows 10/8.1/7/Vista

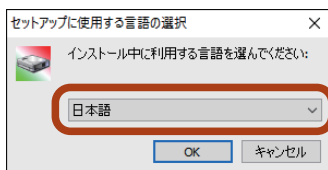
1. インストール方法 .....	P3
2. ユーザー登録方法 .....	P4
3. ライセンスキーの登録 .....	P5
4. 基本的な使い方 .....	P7
5. 画面、および各機能の説明 .....	P8
5-1. メイン画面 .....	P8
5-2. 論理ドライブ画面 .....	P10
5-2-1. 論理ドライブ画面("概要"タブ) .....	P11
5-2-2. 論理ドライブ画面("温度"タブ) .....	P12
5-2-3. 論理ドライブ画面("S.M.A.R.T."タブ) .....	P13
5-2-4. 論理ドライブ画面("情報"タブ) .....	P14
5-2-5. 論理ドライブ画面("ログ"タブ) .....	P16
5-2-6. 論理ドライブ画面("ディスク性能"タブ) .....	P16
5-2-7. 論理ドライブ画面("アラート"タブ) .....	P17
5-3. 物理ディスク画面 .....	P17
5-4. ステータスウィンドウ .....	P18
5-5. トレイアイコン .....	P18
5-6. ディスクアイコン .....	P18
6. 設定について .....	P19
6-1. ハードディスクドライブ .....	P20
6-2. 環境設定 .....	P21
6-3. ステータスウィンドウ .....	P21
6-4. 閾値/トレイアイコン .....	P21
6-5. アラート .....	P22
6-6. メッセージ設定 .....	P23
6-7. E-mail設定 .....	P23
6-8. 製品登録 .....	P24
6-9. アップデート .....	P24
6-10. 高度オプション .....	P25
6-11. ディスクコントロール .....	P26
6-12. ホットキー .....	P26
6-13. 操作 .....	P27
6-14. 統合 .....	P27
6-15. テストレポートを送信 .....	P28
7. よくある質問と回答 .....	P29
Q. なぜハードディスクの温度がとても重要なのですか? ...	P29
Q. S.M.A.R.T.とは何ですか? .....	P29
8. アンインストール方法 .....	P30
9. サポート連絡先 .....	P31

## ◎ STEP.1

ファイル「hdsentinel\_pro\_setup.exe」をダブルクリックして下さい。



「hdsentinel\_pro\_setup.exe」を実行すると、インストーラーが起動します。使用する言語設定をお選び頂けますので、「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。他の言語をご希望の際はプルダウンメニューより選択可能です。



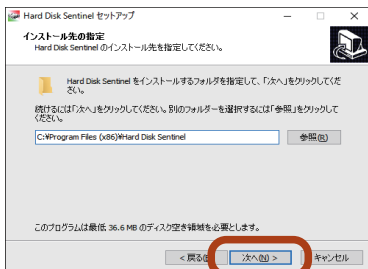
## ◎ STEP.2

言語を設定頂きますと、本アプリケーションの「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。英語表記ですが、ここにはアプリケーションをご使用頂くにあたり同意頂く内容が記載されています。



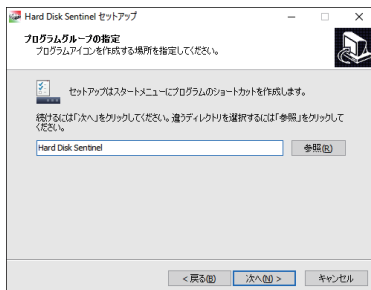
## ◎ STEP.3

使用許諾契約書に同意頂きますと、インストール先をご指定できます。特に変更頂く必要はありませんが、インストール先を変更される際は、「参照」ボタンをクリックし、インストール先をご指定下さい。



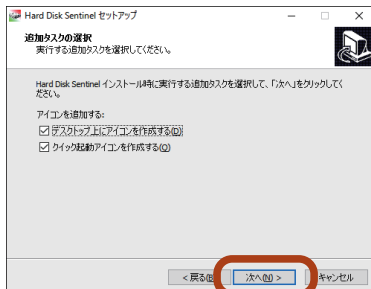
## ◎ STEP.4

インストール先を決定後、プログラムアイコンを作成する場所をご指定できます。特に変更頂く必要はありませんが、プログラムアイコンの作成場所を変更される際は、「参照」ボタンをクリックし、作成場所をご指定下さい。



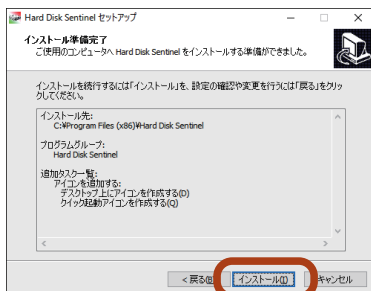
## ◎ STEP.5

プログラムアイコンの作成先決定後は、インストール時に実行する操作を選択可能です。ご希望の実行内容にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックして下さい。インストール準備完了画面にて「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。



## ◎ STEP.6

以上でインストールの準備は完了です。設定内容に問題が無ければ「インストール」ボタンをクリックして下さい。設定を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックして変更して下さい。



## ◎ STEP.7

右記画面にて「完了」ボタンをクリックするとインストールは完了です。インストールが完了するとインターネットブラウザが起動し、「お客様ユーザー登録」画面が表示されます。詳細については「2.ユーザー登録方法」をご覧ください。



インストール完了後、インターネットブラウザが起動し、  
「お客様ユーザー登録」画面が表示されます。  
ユーザー登録を行うと以下の点が優遇頂けます。

#### ユーザー登録特典

### ① 優先サポート

未登録のユーザーの方よりも優先してユーザーサポートを受けていただけます。

### ② プログラムの再送信

PCの買い替えや、OSの再インストール時、購入済みのソフトのプログラムを再送信させていただきます。

### ③ プログラムアップデート、新商品のお知らせ配信

お買い上げ頂いたソフトのアップデート時、優先してお知らせを配信いたします。  
また、新バージョンや新商品発売時にもどこよりも早くお知らせをお届けいたします。

パソコンソフト  
専門ショップ **Ging**

① ホーム  
home

② 会社概要  
company

③ お問い合わせ  
Inquiry

④ ユーザー登録  
user

⑤ 法人向けライセンス販売  
license sale

株式会社GING > Ging お客様ユーザー登録



## お客様ユーザー登録

### お客様ユーザー登録

この度は弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
こちらのページでユーザー登録していただけますと、下記の特典がございます。

#### ①優先サポート

ユーザー登録していただきましたお客様には、通常のお客様より優先してユーザーサポートを受けていただけます。  
ユーザー登録完了後に送られてくるメールに「優先サポート窓口」のメールアドレスを記載しておりますので、  
もし製品のご使用方法についてご不明な点がございましたら、「優先サポート窓口」までお問い合わせください。

#### ②プログラムの再送信

もしパソコンを買い替えたり、OSを再インストールをされたため、ソフトのプログラムを消してしまった場合、  
購入されたソフトのプログラムを再送信させていただきます。

#### ③プログラムアップデート・新商品のお知らせ配信

お買い上げいただきましたソフトのプログラムがアップデートされた場合、優先してそのお知らせを配信いたします。  
また、新バージョン・新商品が発売されます際には、どこよりも早くそのお知らせをお届けいたします。

大変お手数ではございますが、下記の項目をご入力いただき、「送信」ボタンをクリックしてください。  
何卒よろしくお願い申し上げます。

お名前 [必須]

メールアドレス [必須]

### 商品一覧

- システムユーティリティ
- 便利ツール
- 音楽・動画ソフト
- 画像編集ソフト
- 音声認識ソフト

### 無料ソフト

- Auslogics Uninstall Manager
- Auslogics Disk Defrag
- Auslogics BoostSpeed 8

Ging製品定価一覧



※ブラウザが起動しない場合は「<https://ging.co.jp/user.html>」をURL欄に  
入力して、登録画面を表示させて下さい。

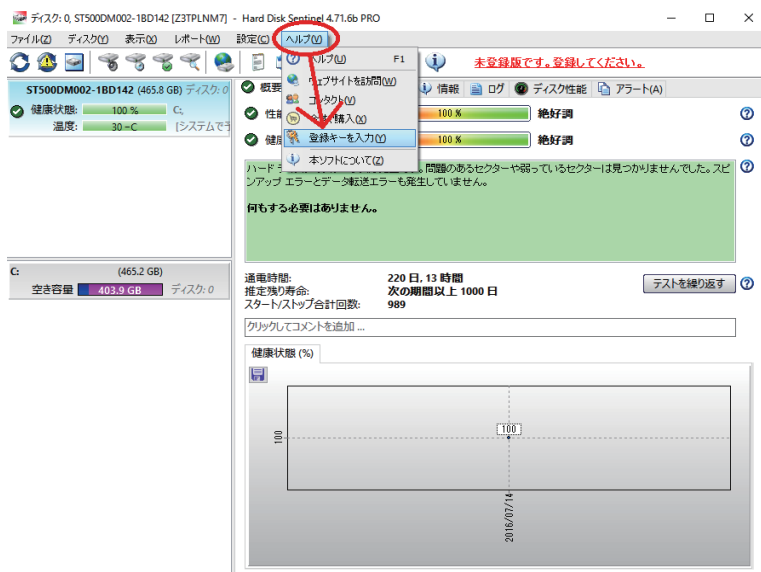
「Hard Disk Sentinel」の機能を全てご使用頂くには、ライセンスキーを登録頂く必要があります。お持ちのライセンスキーを入力頂きますと、本製品の全機能をご使用頂く事が可能となり、本製品のアップデートや、最新情報をお受け取り頂けます。

※ライセンス未登録(試用版)の場合、機能が一部制限されます。

ライセンスキー登録方法について以下に手順を記載いたします。

## STEP.1

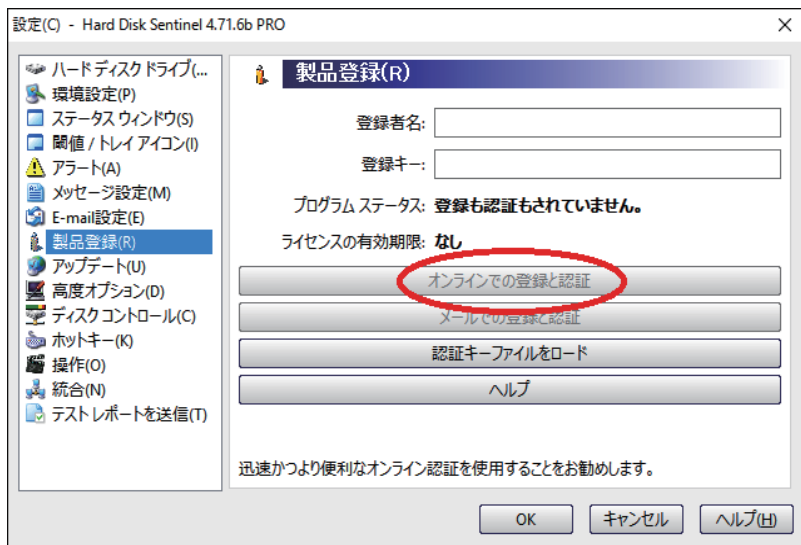
「Hard Disk Sentinel」起動後、画面上部のメニューから「ヘルプ(V)」をクリックし、「登録キーを入力(Y)」をクリックして下さい。



## ◎STEP.2

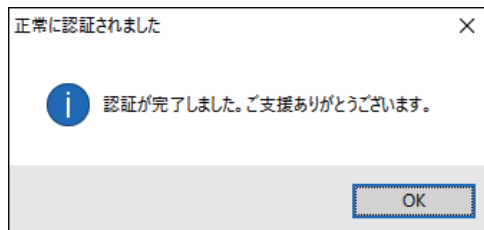
「登録キーを入力(Y)」ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。画面内の「登録者名」の枠に登録者のお名前を、「登録キー」の枠にライセンスキーを入力し、「オンラインでの登録と認証」ボタンをクリックして下さい。

※入力が完了されるまで「オンラインでの登録と認証」ボタンはクリックできません。



## ◎STEP.3

登録者名」と「ライセンスキー」を入力し、認証されれば登録完了です。購入いただいたライセンスにて本アプリケーションをご使用頂けます。



Hard Disk Sentinelをご購入頂き、ありがとうございます。  
このアプリケーションは、ハードディスクの状態、温度、健康などを監視するために作成されたアプリケーションです。

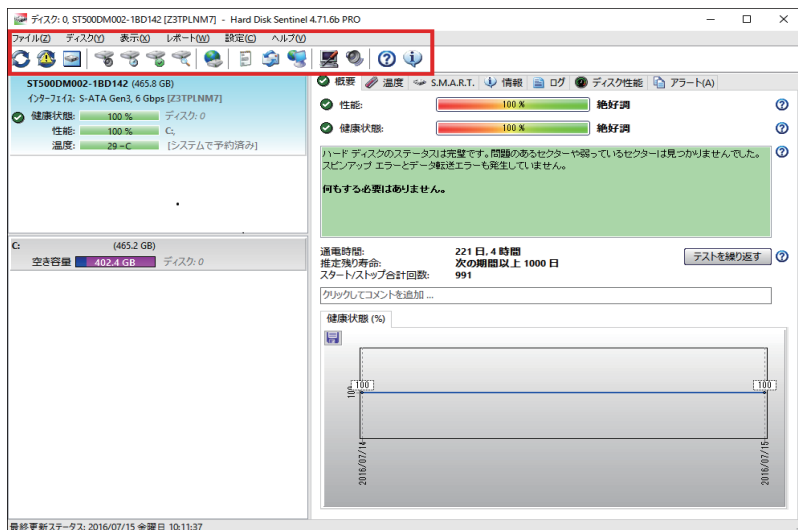
このアプリケーションを使用する事で、  
ハードディスクに発生する可能性のある問題や性能の劣化を検知し、  
ハードディスクの故障を予測することで重大なデータの損失を回避することができます。

以降の章では本アプリケーションの機能と特徴について説明します。



## 5-1 メイン画面

メイン画面は本アプリケーションの基本となる画面です。  
メインメニューまたはクイックボタンをクリックする事で各機能にアクセス  
することができます。

















メインメニューには、以下の機能があります。

- 「ファイル」…ハードディスクの情報の表示や、本アプリケーションの終了
- 「ディスク」…ハードディスクに対して色々なテストの実施
- 「表示」………ハードディスクの知りたい情報の表示
- 「レポート」…ご使用のハードディスクのテストレポートをテキストファイル、またはHTMLでの保存、送信
- 「設定」………本アプリケーションを使用する際のオプション設定
- 「ヘルプ」………本アプリケーションの機能についてのヘルプ

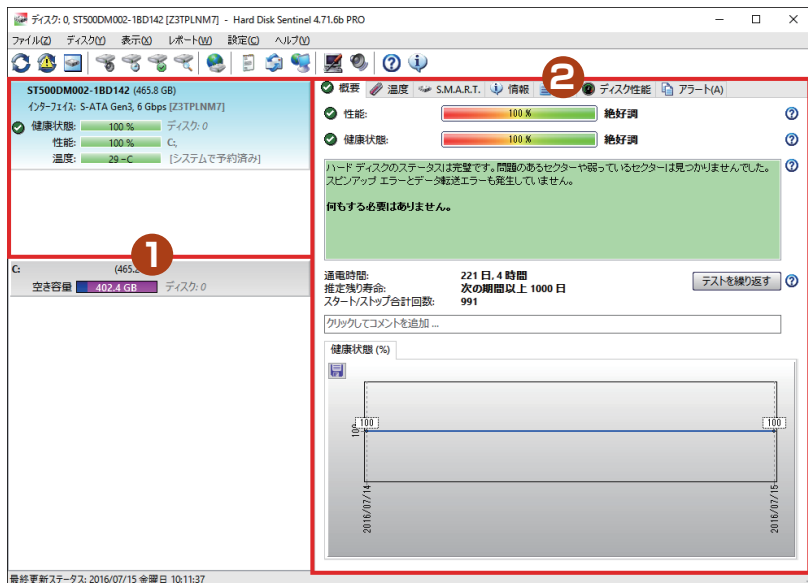


クイックボタンからは、次の機能を実行することが可能です。

-  接続されているハードディスクの情報の更新
-  アラートの再有効化の実施
-  ステータスウィンドウの表示 / 非表示の切り替え
-  ハードディスクの騒音レベルの設定  
騒音レベルが高いと、性能は上がりますが騒音が大きくなり、  
騒音レベルが低いと、性能は下がりますが騒音が小さくなります。
-  時間を指定してのハードディスクのテスト  
ハードディスクの騒音レベル、温度、CPU使用率などを計測する事ができます。
-  ハードディスクの表面テスト  
ディスクを読み込み、内部のディスクが全て読み込み可能かをテストする事ができます。
-  ハードディスクの自己判断テスト  
短時間でテスト可能な簡易テストと、長時間かけての詳細テストの2パターンあります。
-  ハードディスクのレポート作成  
任意でテキストファイル、またはHTML形式で作成する事ができます。
-  作成レポートを指定した先へ電子メール送信
-  作成レポートを開発者へ電子メール送信
-  設定画面への遷移
-  サウンドアラートの有効化 / 無効化の切り替え
-  ヘルプ画面への遷移
-  本アプリケーションのバージョン情報の表示

## 5-2 論理ドライブ画面

画面左側①の上側にあるパネルには、パソコンに接続されている全ディスクが表示されています。情報が欲しいディスクをクリックすると、画面右側②の情報パネルにクリックしたハードディスクの詳細情報が表示されます。右側の情報パネルは複数のタブで構成されており、タブを使用するか、「表示」メニューから選ぶことで、情報の表示を切り替える事ができます。



## 5-2-1 論理ドライブ画面(“概要”タブ)

このページでは、上側には選択したハードディスクの性能と健康状態、現在の状況を説明するテキストが表示されます。



テキストには、ハードディスクの稼働中に発生した問題などが表示されますので、問題を解決する際のヒントとしてご参考になしてください。

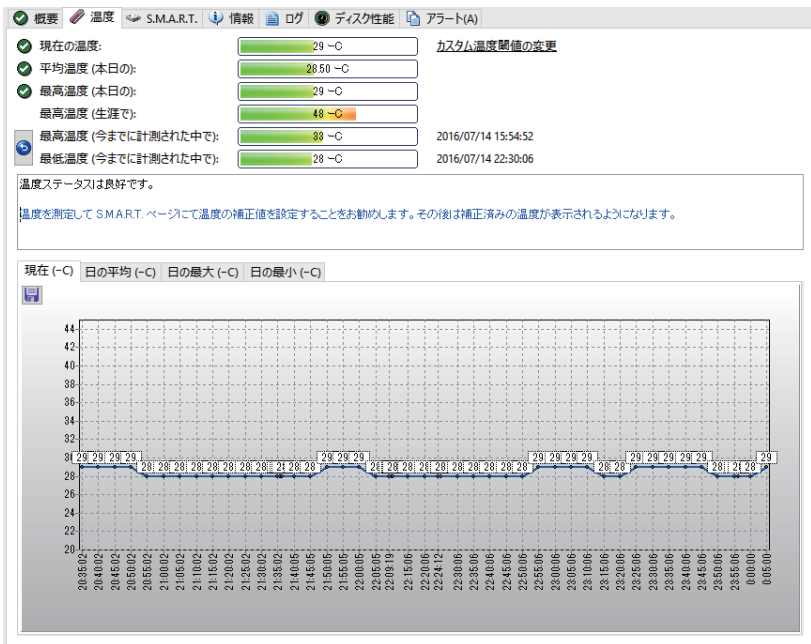
中央には、ハードディスクの通電時間、推定残り寿命が表示されます。

下側には、以前に測定されたディスクの健康値の履歴が表示されます。

本アプリケーションは毎日ハードディスクの状態を測定、健康値を保存し、これらの値をグラフにして表示します。

長期間使用された場合、グラフの下にスクロールバーが表示されますので、バーをスクロールする事で過去の日付の測定結果を確認する事ができます。また、グラフはグラフ左上のディスクアイコンをクリックすることでグラフを画像として保存することができます。

## 5-2-2 論理ドライブ画面(“温度”タブ)

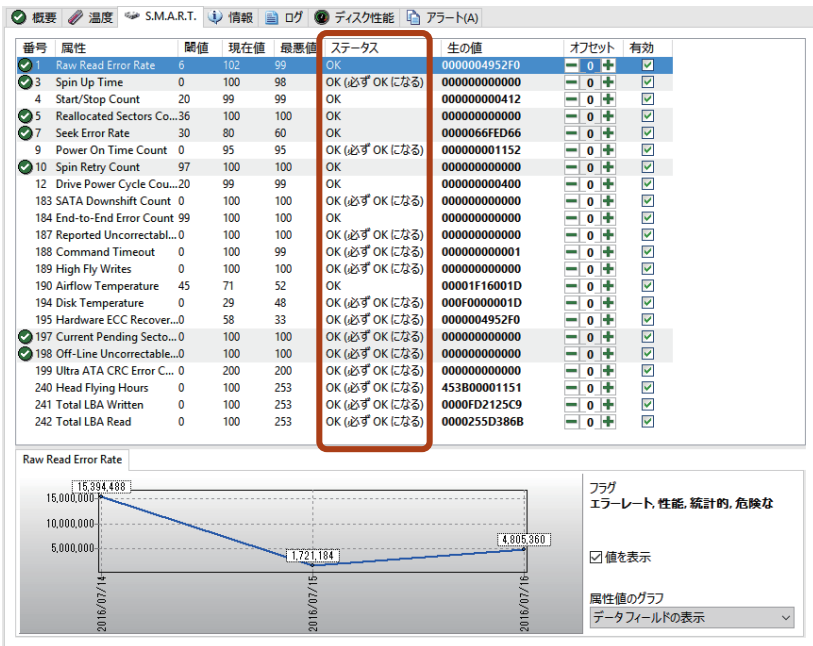


このページでは、本日測定されたハードディスクの平均温度と最高温度を調べることができます。

温度に基づいて現在の状況を説明するテキストが表示されます。  
ハードディスクが高温になっている場合には、  
問題を回避するためのヒントが表示されますのでご参考になしてください。

ページの下部では、現在の測定、および過去に測定された値が表示されます。  
その日の平均値や過去に測定された最高温度を調べることも可能です。  
長期間使用された場合、グラフの下にスクロールバーが表示し、バーをスクロールする事で過去の日付の測定結果を確認する事ができます。

## 5-2-3 論理ドライブ画面("S.M.A.R.T."タブ)



こちらのページでは、ハードディスクに内蔵された自己診断機能の結果を見ることができます。**ステータス列**には、各属性の現在のステータスが表示されます。

**OK**……現在値が閾値以上になっている為、問題なし

・**OK (必ずOKになる)**……閾値が0に設定されている為、強制的にOKになる

※情報として数値を表示する項目に適用されます

・**Fail**……現在値が閾値を下回っている為、問題あり

・**Usage limit exceeded**……現在値が閾値を下回っているが、致命的な問題ではない

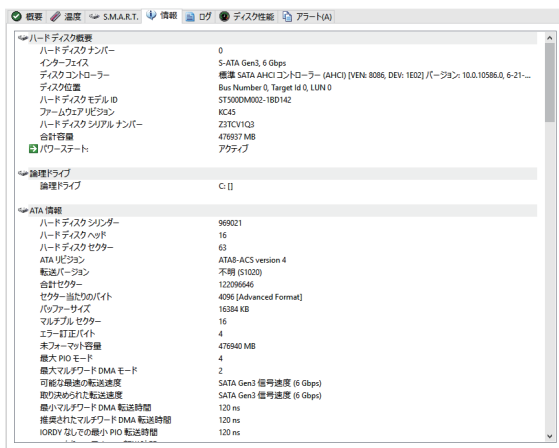
「オフセット」は「生の値」を直接変更することができます。「有効」のチェックを外すと、チェックを外した項目の評価を行わない状態にできます。これらの機能を使用すると、現在の正常な評価が診断されなくなりますので、**知識がある方のみ操作を推奨します。**

ページ下側のグラフは、属性がどのように変化するかを調べることができます。グラフ左側は最初の計測値、グラフ右側は最新の計測値が反映されます。「値を表示」のチェックボックスは、グラフの値の表示・非表示を切り替えることができます。「属性値のグラフ」はプルダウンより、各項目を選ぶことで情報を切り替えることができます

## 5-2-4 論理ドライブ画面(“S.M.A.R.T.”タブ)

こちらのページでは、ハードディスクの詳細情報を確認することができます。

マウスの右クリック操作で、選択中の情報をコピーすることができますので、テキストファイルや電子メールなどに貼り付ける時などにご利用頂けます。



## 騒音管理設定

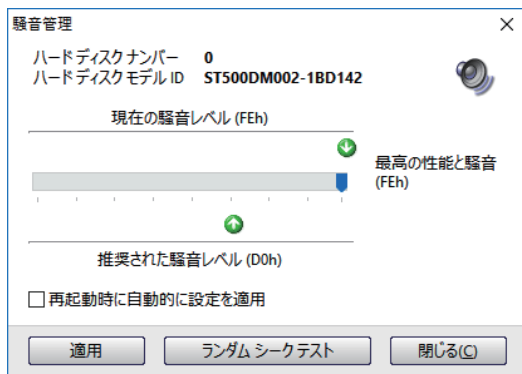
この機能はハードディスクでサポートされている場合、設定を変更することができます。騒音管理設定の「適用」をクリックすることで、騒音管理ウィンドウが開きます。

騒音管理設定	適用
<input checked="" type="checkbox"/> 騒音管理	対応
<input checked="" type="checkbox"/> 騒音管理	有効
現在の騒音レベル	バランスのとれた性能と騒音 (D0h)
推奨された騒音レベル	バランスのとれた性能と騒音 (D0h)

中央のバーを操作する事で値を調整できます。騒音レベルが高いと高速で操作が可能になりますが、騒音が大きくなり、騒音レベルが低いと低速での操作となりますが、騒音が小さくなります。

調整した後は、「適用」ボタンをクリックすると、値が反映されます。

調整を終えたい場合は「閉じる」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



# S.M.A.R.T詳細

S.M.A.R.T. 詳細	
<input checked="" type="checkbox"/> オフライン データコレクションステータス	正常に完了しました
<input checked="" type="checkbox"/> セルフテスト実行ステータス	ホストにより中断されました
<input checked="" type="checkbox"/> オフライン データコレクションの所要時間	600 秒
<input checked="" type="checkbox"/> オフライン データコレクションの即時実行	対応
<input type="checkbox"/> ホストによるオフライン データコレクションの中断/再開	非対応
<input checked="" type="checkbox"/> オフライン リードスキャン	対応
<input checked="" type="checkbox"/> ショートセルフテスト	対応、 <a href="#">クリックして開始</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 拡張セルフテスト	対応、 <a href="#">クリックして開始</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 輸送セルフテスト	対応、 <a href="#">クリックして開始</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 選択的セルフテスト	対応
<input checked="" type="checkbox"/> 節電モードの 前に/後で データを保存	対応
<input checked="" type="checkbox"/> 属性の自動保存の 有効/無効	対応
<input checked="" type="checkbox"/> エラーログ記録機能	対応

こちらでは、3種のハードディスクのテストを行うことができます。各項目の「対応、クリックして開始」をクリックすると、それぞれのテスト画面が開きます。

ハードディスク テスト - ディスク: #0

ハードディスクモデル ST500DM002-1BD142

ハードディスクシリアルナンバー HCV1Q3

テスト作業: ショートセルフテスト

ステータス: テスト中です、問題は見つかりません

レスポンス: ...

経過時間: 00:00:05

推定残り時間: 1 分

キャンセル

バックグラウンド

クリックした時点でテストが開始されますので、テストを止めたい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。「バックグラウンド」ボタンをクリックすると、ウィンドウが非表示になり、バックグラウンド上でテストを継続します。

テストにはそれぞれ特徴がありますので、状況に応じて選んで下さい。

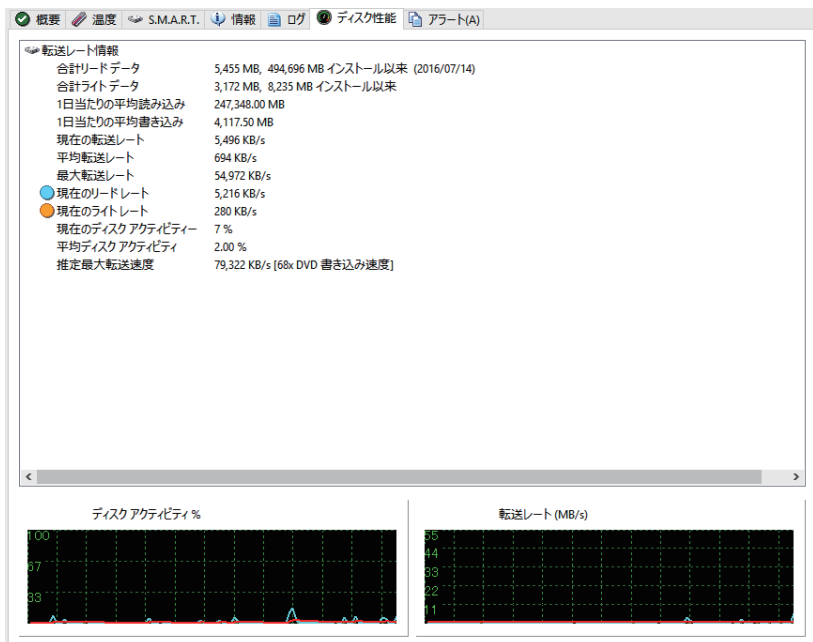
- ・**ショートセルフテスト**……ハードディスクを簡易にテストします。
- ・**拡張セルフテスト**……ハードディスクを全部テストします。
- ・**輸送セルフテスト**……ハードディスクがメーカーから機能としてサポートされている場合、固有の方法でテストします。



## 5-2-5 論理ドライブ画面(“ログ”タブ)

こちらのページではハードディスクに問題が発生した際、ログとして記録されます。「ログを空にする」ボタンをクリックすると、ログを消すことができます。

## 5-2-6 論理ドライブ画面(“ディスク性能”タブ)



こちらのページでは、ハードディスクの転送レート情報や、ディスクアクティビティや転送レートをグラフで確認する事ができます。

転送レート情報では、書き込み操作を検出した場合はオレンジ色のアイコンが表示され、読み出し動作の検出をした場合は水色のアイコンが表示されます。

画面下部のグラフは水色の線と赤色の線で、平均値とディスクアクティビティ/転送速度の実際の値を示しています。

## 5-2-7 論理ドライブ画面("アラート"タブ)

ハードディスクに問題が発生した際のアラートはこのページに記載されます。障害が予測や過熱などの問題が検知された際にログとして記録され、このリストに表示されます。

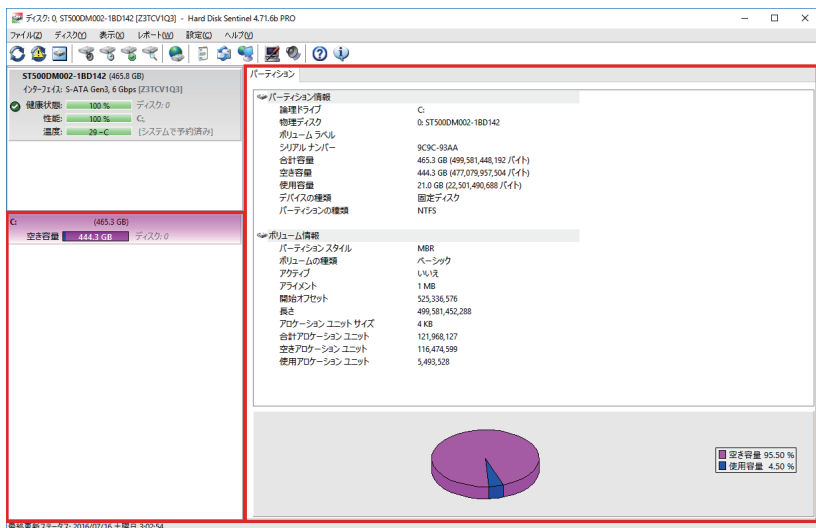
「ログを空にする」ボタンをクリックすると、ログを消すことができます。

## 5-3 物理ディスク画面

パソコンに接続されているハードディスクの情報を確認できます。

主にはシリアルナンバー、空き容量や使用容量、及び合計容量などをご確認いただけます。

画面左側の下側にあるパネルに、パソコンに接続されている全ディスクが表示されています。情報が欲しいディスクをクリックすると、画面右側の情報パネルをクリックしたハードディスクの詳細情報が表示されます。



## 5-4 ステータスウィンドウ

30 -C: ディスク: #0 - ST500DM002-1BD142 - C: - 100 % - OK

イン画面のクイックボタンから「ステータスウィンドウを表示」ボタンをクリックすると、小さなステータスウィンドウへ表示を切り替えることが可能です。これには、取り付けられたハードディスクの温度や健康状況などの情報が含まれています。このステータスウィンドウは、他のすべてのウィンドウより、最前面に表示されます。

## 5-5 トレイアイコン

30 ディスク: #0 - ST500DM002-1BD142 - C: - OK  
ハードディスク温度: 30 -C  
健康状態: 100 %

タスクバーの画面右下に、トレイアイコンを使用して、ハードディスクの状態を表示させることができます。ハードディスクを新規インストールした後、温度情報のアイコンは各ハードディスク毎に表示されます。

ハードディスクの温度に応じてアイコンの背景色が変化し、現在の状況を知らせます。温度によって表示される色が変わります。

- 緑色……「43度以下」と検知された場合
- 黄色……「44度～49度」と検知された場合
- 赤色……「50度以上」と検知された場合

これらの温度の閾値と背景色は、ユーザーのお好みで設定することができます。トレイアイコンを右クリックすると、クイックメニューが表示されます。

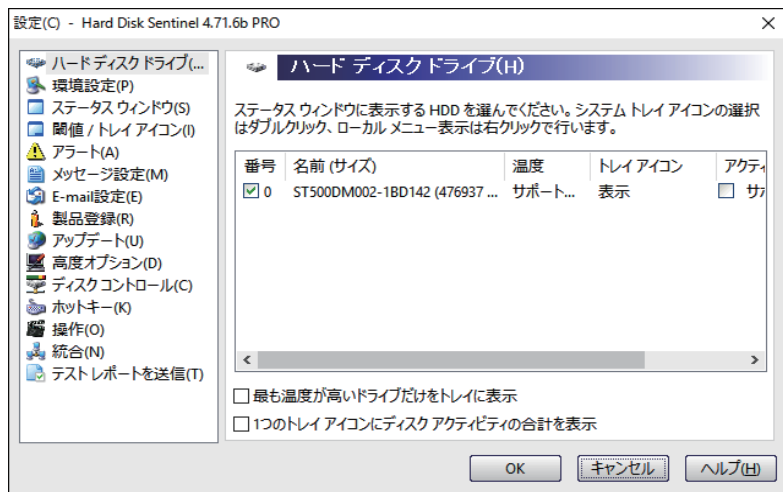
## 5-6 ディスクアイコン

本アプリケーションをインストールしていると、ハードディスクのドライブに、ディスクのステータスと使用容量が表示されるようになります。

使用容量が増加するにつれて、バーの色が黄色、次に赤色に変わります。



## 6-1 ハードディスクドライブ



この画面では、検出されたすべてのハードディスクが表示されます。

番号の前にボックスを選択することにより、ステータスウィンドウに表示させるハードディスクを設定することが可能です。(複数可)

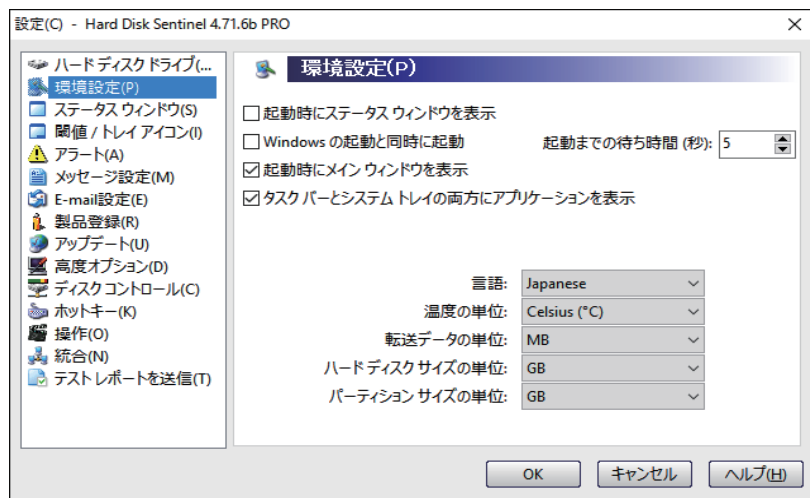
任意のハードディスクをダブルクリックすると、トレイアイコンの表示 / 非表示の切り替えができます。

任意のハードディスクを右クリックするとハードディスクのローカルメニューを表示できます。

このメニューから、トレイアイコンの表示 / 非表示の切り替えを行ったり、ハードディスクの各詳細情報にアクセスすることが可能です。

また、騒音管理機能はこのメニューからも開くことができます。

## 6-2.環境設定



この画面では以下の設定の変更が可能です。

### ・起動時にステータスウィンドウを表示

本アプリケーションを起動した際、同時にステータスウィンドウを表示させることができます。

### ・Windowsの起動と同時に起動

Windowsを起動した際、本アプリケーションを同時に起動させることができます。

また、起動までの待ち時間を指定する事が出来ます。

### ・起動時にメインウィンドウを表示

チェックを外すと、本アプリケーションを起動した際に、メインウィンドウが表示されず、タスクトレイに隠された状態で起動します。

### ・タスクバーとシステムトレイの両方にアプリケーションを表示

チェックを外すと、タスクバーに本アプリケーションが表示されず、システムトレイのアイコンのみ表示されるようになります。

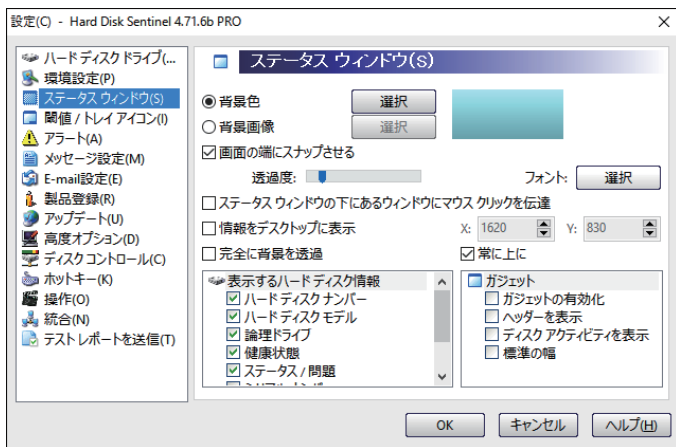
### ・言語

インターフェイスおよびレポート、メールやメッセージで使用する言語を設定することができます。

### ・各種単位

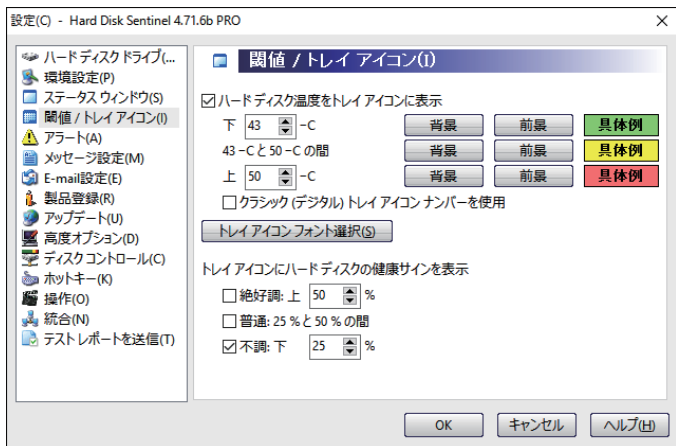
温度、転送データ、ハードディスクサイズ、パーティションサイズの単位を変更できます。

## 6-3 ステータスウィンドウ



この画面ではステータスウィンドウの背景色などのレイアウトやクリックの判定、任意のフォントや文字色の変更、表示させるハードディスク情報などを指定する事ができます。

## 6-4 閾値/トレイアイコン



この画面では、ハードディスクの温度や健康サインの閾値、及び一定の温度毎にトレイアイコンの背景色やフォントなどのレイアウトを設定することができます。

## 6-5 アラート



こちらでは、ハードディスクに問題が発生した際に出す警告を設定できます。

### ・故障が予測された時

メーカーによって定義された閾値を上回った際に発生します。

### ・健康状態が低い時

ハードディスクの健康値が黄色や赤のレベルよりも低い場合に発生します。

### ・温度が高すぎる時

ハードディスクの温度が黄色や赤のレベルを越えた場合に発生します。

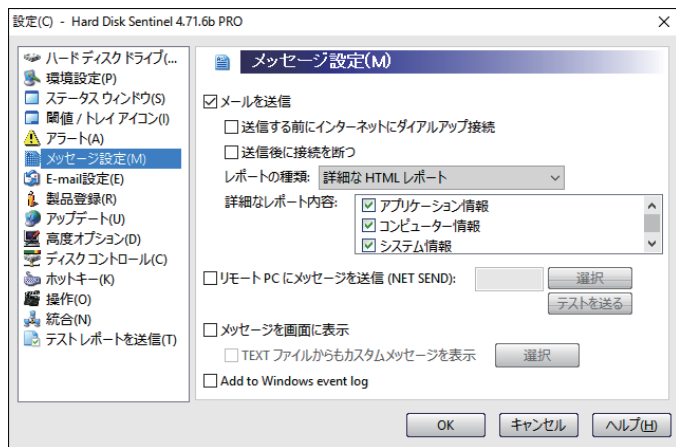
### ・ログに新しいエントリが追加された時

ハードディスク上に重要な問題が発生したときにハードディスクのログに記録されます。

### ・空き容量が少ないとき

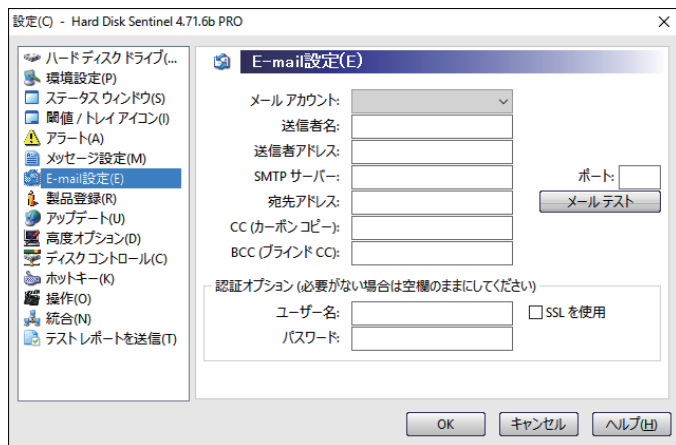
ハードディスクの空きスペースの量が設定された閾値未満である場合に発生します。

## 6-6 ステータスウィンドウ



本アプリケーションは問題が見つかった場合、情報やレポートを送信することができます。このページでは、詳細のレポート内容を設定することが可能です。

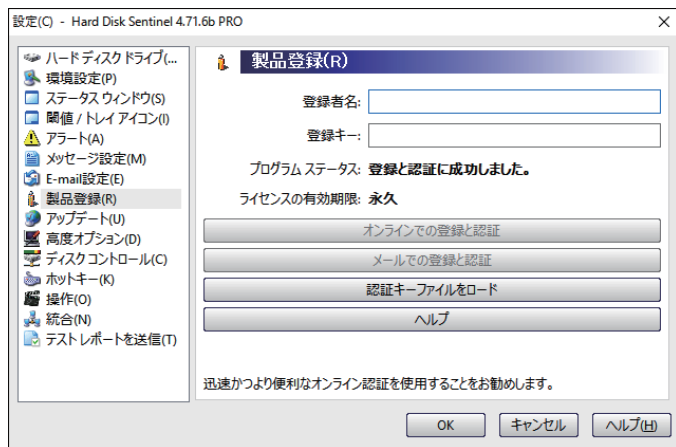
## 6-7 E-mail設定



このページでは、ユーザーが電子メールを送信するために送信者の名前やアドレスなどの必要な情報の設定を行うことができます。

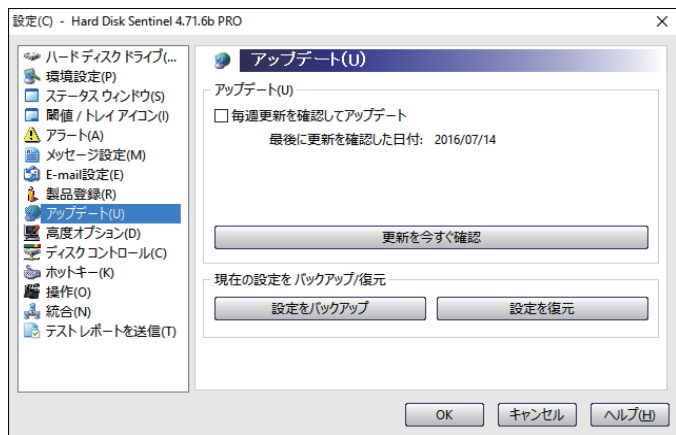


## 6-8 製品登録



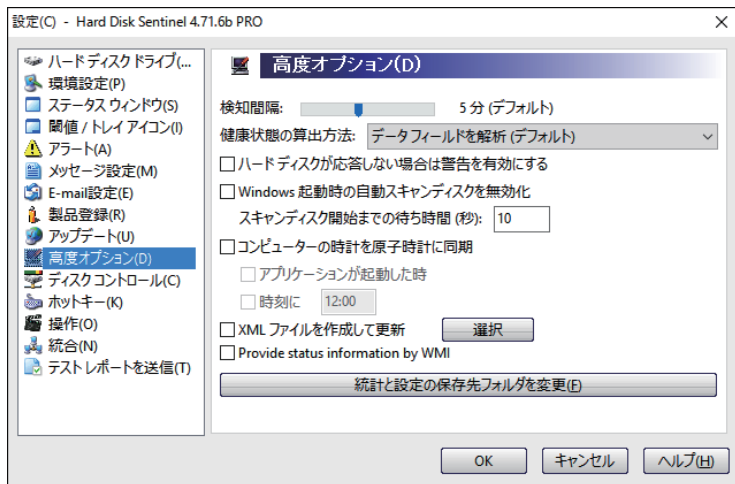
このページでは、登録者名とライセンスキーの入力を行い、製品登録ができます。(P.8の「3.ライセンスキーの登録」をご参照ください)

## 6-9 アップデート



この画面では、バージョンの更新があった場合、オンラインサーバーを通して自動的にアプリケーションを更新するように設定できます。  
自動でバージョンの更新を確認し、最新バージョンが存在した場合、自動的

## 6-10. 高度オプション



こちらの設定は不適切なシステム動作を引き起こす可能性があるとして、経験のあるユーザー向けの設定となっております。

### ・検知間隔

本アプリケーションを起動した際、同時にステータスウィンドウを表示させることができます。

### ・健康状態の算出方法

Windowsを起動した際、本アプリケーションを同時に起動させることができます。  
また、起動までの待ち時間を指定する事が出来ます。

### ・ハードディスクが応答しない場合は警告を有効にする

チェックを外すと、本アプリケーションを起動した際に、メインウィンドウが表示されず、タスクトレイに隠された状態で起動します。

### ・Windows起動時の自動スキャンディスクの無効化

設定することで、Windowsを起動した際の自動ディスクチェック手順を無効にすることが可能です。

チェックを外すと、タスクバーに本アプリケーションが表示されず、システムトレイのアイコンのみ表示されるようになります。

### ・スキャンディスク開始までの待ち時間

インターフェイスおよびレポート、メールやメッセージで使用する言語を設定することが出来ます。

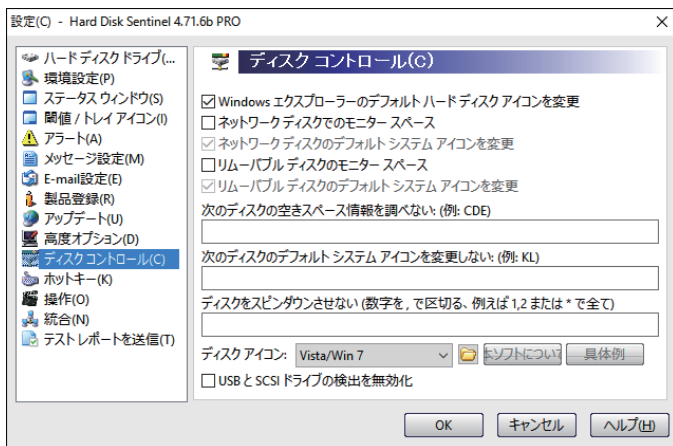
### ・コンピューターの時計を原子時計に同期

温度、転送データ、ハードディスクサイズ、パーティションサイズの単位を変更できます

### ・コンピューターの時計を原子時計に同期

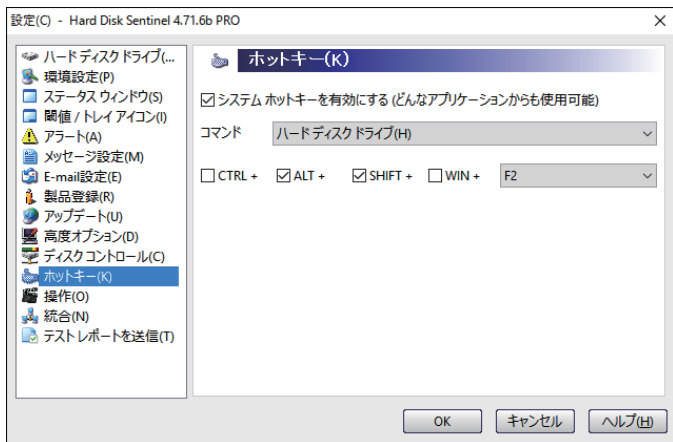
温度、転送データ、ハードディスクサイズ、パーティションサイズの単位を変更できます

## 6-11 ディスクコントロール



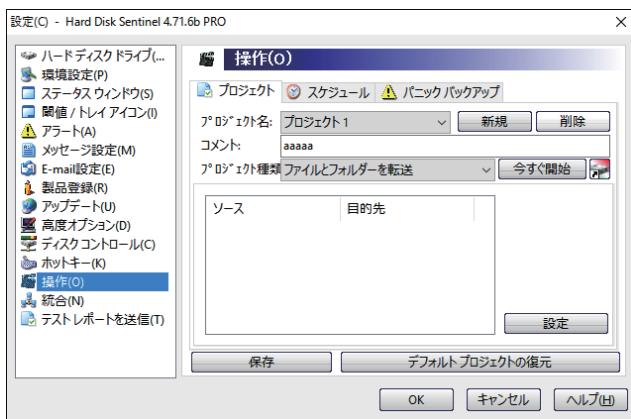
こちらはWindowsエクスプローラー上のハードディスクアイコンの変更の切り替え、ネットワークディスクやリムーバブルディスクの容量の監視の有無を切り替えるなどの設定を行うことができます。

## 6-12 ホットキー



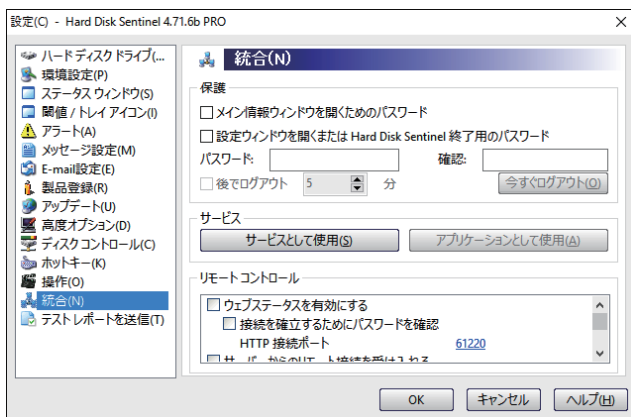
システムホットキーを使用して本アプリケーションの機能にアクセスすることが可能です。システムホットキーを有効にした際、他のアプリケーションを使用している際に設定したホットキーを実行すると、本アプリケーションが最前列へ表示されます。

## 6-13 操作



こちらでは、自動でバックアップするようにスケジュールし、問題が発生した場合にそれらを実行するように設定できます。「プロジェクト」で様々なタスク(プロジェクト)を設定した後、「スケジュール」から実施する曜日などを設定が可能です。

## 6-14 統合



この画面では、本アプリケーションをシステムに統合する方法の設定が可能です。この設定は上級者向けの設定となっています。

### ・保護

アプリケーションをパスワードで保護することができます。  
このパスワードを認知していないユーザーは、現在の設定を確認、変更することはできません。  
保護を有効にすると、パスワードなしでハードディスクの詳細を表示することはできません。  
管理者は正しいパスワードを入力した後、対応するウィンドウにアクセスすることができます。

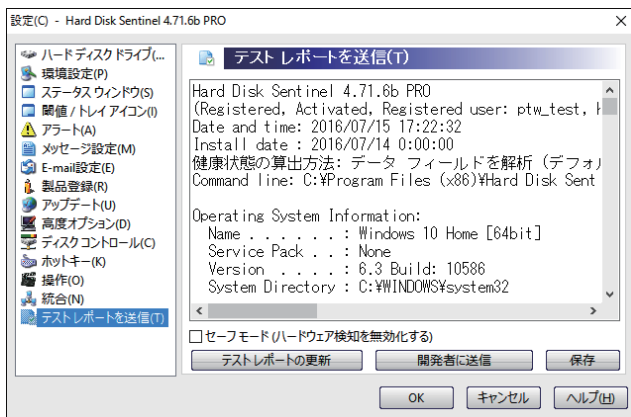
### ・サービス

本アプリケーションは2つモードで動作させることができます。  
アプリケーションモードまたはサービスモードとして実行することができ、デフォルトでは、アプリケーションモードで実行されます。

### ・リモートコントロール

「ウェブステータスを有効にする」が有効な場合、ウェブブラウザを使用してローカルまたはリモートコンピュータ/携帯電話などから、ハードディスクの状態を調べることができます。  
また、不正アクセスを防止するために使用することができます。

## 6-15 テストレポートを送信



この画面では、ハードディスクの詳細な検知情報のテストレポートを作成し、開発者に送信することができます。

[テストレポートの更新]をクリックするとハードディスクのテストレポートがテキストボックスに表示されます。

また、レポートは[保存]ボタンでファイルに保存することができます。

**Q なぜハードディスクの温度がとても重要なのですか？**

- A** ハードディスクは温度が上昇するにつれ、性能も減少していきます。特に高回転のハードディスクや小型ハードディスクは非常に高い温度を引き起こす可能性があります。  
ディスクメーカーは多くの場合50℃以上にならないように制限しています。  
ハードディスクを長く使用したい場合は、35～40℃程度を維持するようにしましょう。

**Q .S.M.A.R.T.とはなんですか？**

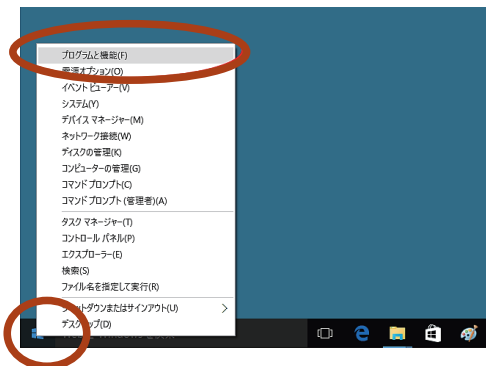
- A** S.M.A.R.T.とは、ハードディスクに内蔵された自己診断機能の事です。読み取りエラーの発生率や読み書き速度、モーターの起動・停止の通算回数、出荷以来の通算の通電時間、ディスクが固定位置からずれた距離などを測定し、接続されたパソコンなどに知らせてくれます。  
ATAおよびSCSIの仕様で診断項目などが定義されており、現在ではほとんどのハードディスクおよびSSD製品が対応しています。

## ◎ STEP.1

### Windows10、Windows8.1、Windows8の場合

デスクトップ画面の左下にあるスタートボタン(Windowsのマーク)へカーソルを合わせ、右クリックを押して下さい。

表示されるメニューの一番上、「プログラムと機能」を選択して下さい。



### Windows7以前の場合

デスクトップ画面の左下にあるスタートボタンをクリックし「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」内の「プログラムのアンインストール」をクリックします。



## ◎ STEP.2

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

一覧から「Hard Disk Sentinel PRO」へカーソルを合わせ、右クリックします。右クリックすると「アンインストール」と表示されるので、「アンインストール」をクリックします。

## ◎ STEP.3

「Hard Disk Sentinelとその関連コンポーネントをすべて削除します。よろしいですか?」に対し、「はい」を選ぶとアンインストールが自動的に実行されます。

製品についてご不明な点等御座いましたら、  
下記サポート連絡先へご連絡下さいます様お願い致します。

### GING サポートセンター

✉ **E-Mail: info@ging.co.jp**

※ 24 時間受け付けております。

※お問い合わせいただいてから「3 営業日」以内に回答いたします。

※お問い合わせはメールでの受付のみとなっております。



**ホームページ**

**<http://ging.co.jp/inquiry.html>**

【開発・販売元】株式会社GING(<http://ging.co.jp>)

〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-6-39

【問合せ専用アドレス】: [info@ging.co.jp](mailto:info@ging.co.jp)

**Ging**